

令和3年度

一般会計決算に係る主要な施策の成果等報告書

1. 西いぶり広域連合一般会計予算の執行と成果の概要

(1) 一般会計補正予算の状況 () は、当初予算額及び補正後予算額を示す。

(単位 千円)

区 分	補 正 額	補 正 の 主 な 内 容
当 初 予 算 R3. 2. 19 議決	(2, 661, 451)	
補正予算第1号 R3. 4. 15 専決 (R3. 6. 1 承認)	8, 441 (2, 669, 892)	健康管理システム改修、児童扶養手当システム改修
補正予算第2号 R3. 6. 1 議決	4, 198 (2, 674, 090)	上下水道料金システム改修
補正予算第3号 R3. 9. 1 議決	—	債務負担行為設定 (財務会計システム導入)
補正予算第4号 R3. 11. 22 議決	13, 268 (2, 687, 358)	ライセンス購入経費、健康管理システム改修 債務負担行為設定 (施設運転保守管理等業務委託料)
補正予算第5号 R3. 12. 1 専決 (R4. 2. 18 承認)	8, 446 (2, 695, 804)	臨時給付金システム改修
補正予算第6号 R4. 2. 18 議決	10, 107 (2, 705, 911)	住民記録システム改修、給付金システム導入経費、 使用済乾電池処理経費 繰越明許費設定 (住民記録システム改修、給付金システム導入経費) 債務負担行為設定 (共同電算用システム等保守業務委託)
補正額合計	44, 460	

(2) 歳入歳出予算の執行結果

予算現額との比較で、歳入では、翌年度への繰越事業の未収入特定財源を除くと 30, 200 千円の減収となりました。これは、アルミ缶の売払による財産収入等があったものの、歳出で不用額が生じたことにより関係市町負担金が減少したことなどによるものです。

歳出では、繰越明許費 9, 408 千円を除き、31, 244 千円の不用額が生じました。この主な要因は、予算額に比べ、職員数の減少に伴う職員給与費の減、西胆振地域廃棄物広域処理施設の老朽化対策経費が減少したことなどによる中間処理施設運営費の減、共同電算に係る機器更新等の時期変更に伴う光熱水費の減少等による情報処理費の減などによるものです。この結果、実質収支額 (決算剰余金) は、1, 044 千円となりました。

(3) 債務負担行為

令和3年度に債務負担行為を設定した事項について、契約締結等による令和4年度以降の支出額は次のとおりです。

(単位 千円)

事 項	限度額	令和4年度以降 支出額	支出期間	備 考
連帳プリンター更新	21, 000	20, 395	令和4年度から 4年度以内	

財務会計システム導入	32,400	29,920	令和4年度	
施設運転保守管理等業務委託料	1,668,435	1,668,435	令和4年度	
共同電算用システム等保守業務委託	265,700	265,579	令和4年度	

(4) 繰越事業

① 翌年度への繰越事業

令和4年度に繰り越す事業は、次のとおりです。

(単位 千円)

区分	款	事業名	繰越額	左の財源内訳		
				既収入 特定財源	未収入 特定財源	一般財源
繰越明許費	情報処理費	住民記録システム改修	7,648		分担金及び負担金 7,648	
繰越明許費	情報処理費	給付金システム導入経費	1,760		分担金及び負担金 1,760	

(5) 主要施策の成果概要

① 西胆振地域廃棄物広域処理事業

ごみ処理施設の令和3年度のごみ搬入量は、前年度の可燃ごみ38,943.55トン、不燃・粗大ごみ7,910.10トン、合計46,853.65トンから、可燃ごみ38,142.75トン、不燃・粗大ごみ7,756.77トン、合計45,899.52トンとなり、約1,000トン、2.0%の減量となりました。これは、これは、主として人口の減少(2.0%減)によるものと考えられます。

西胆振地域廃棄物広域処理施設の運転保守管理業務の委託期間は令和3年7月末までであったことから、広域処理施設の安定的な運営の継続を目的とした施設運転保守管理業務委託費(補填措置分)は令和3年度が最終年度となり、受託会社である西胆振環境(株)に対し71,184千円の支出により経営支援を行いました。

② 最終処分場運営事業

最終処分場の令和3年度のごみ埋立量は脱塩残渣1,426.39トン、処理不適物等1,605.42トンの合計3,031.81トン、覆土は246トンでした。

③ リサイクルプラザ運営事業

令和3年度のリサイクル資源ごみ処理量は、缶類371.45トン、びん類770.86トン、ペットボトル422.31トン、合計1,564.62トンで、アルミ缶、スチール缶の売払で59,942千円、また日本容器包装リサイクル協会からの有償入札拠出金及び再商品化合理化拠出金で9,528千円の収入がありました。ペットボトルの処理では、422.31トン全量を日本容器包装リサイクル協会への引き渡し(指定法人ルート)としました。

危険ごみの処理量は93.77トンで、スプレー缶類の処理に伴う破碎金属ごみの売払で175千円の収入がありました。また、使用済み乾電池処理は危険ごみ区分となったこと

に伴い、中間処理施設運営事業からリサイクルプラザ運営事業となりました。

環境学習施設では、和こものつくりなど各種体験学習講座を行い、施設見学と合わせて1,531人の利用がありました。

再生家具の展示・販売を1月に行い、37件で59千円の売払収入がありました。なお、本事業については、リサイクルプラザ開設時より資源循環型社会の形成に寄与するため実施してまいりましたが、近年は民間のリサイクル店の普及等により取扱件数が減少し、今後も増加が見込めないことから、令和3年度末をもって事業を終了することといたしました。

④ 新中間処理施設整備事業

新中間処理施設の令和6年10月の供用開始に向けて、施設の設計及び建築確認申請等を行いました。令和4年度より本格的な工事を行う予定です。

⑤ 余熱利用施設等運営事業

げんき館ペトトルにおいては、午後1時から8時までの一般利用のほか、午前中の専用利用では、指定管理者による健康増進・ダイエットを目的としたアクアエクササイズ教室や水泳教室の開催など利用拡大に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年6月・9月に臨時休業があったことから、利用者数は、温水プール9,795人、体育館8,400人、多目的室204人の合計18,399人となり、3,670千円の利用料金収入がありました。

⑥ 共同電算システム運用事業

洞爺湖町の共同電算事業参加に伴い、住基・各税・介護保険など55業務システムの整備及び西いぶりデータセンターのネットワーク接続などを実施し、令和4年1月6日に洞爺湖町向け共同電算システムを稼働させ、財務会計など6業務システムを令和4年度稼働に向け整備を進めているところです。

また、更新時期を迎えた西いぶり行政サービス基盤用機器についても各種機器の更新及びシステム・ネットワーク機能などの移行を行い、令和4年1月4日に新西いぶり行政サービス基盤への切り替えが完了したところです。

共同電算システムの運用では、新型コロナウイルス感染症対策に関連し、ワクチン接種事業に対応するため健康管理システムの改修や緊急経済対策に伴う、ひとり親世帯臨時特別給付金、子育て世帯への臨時特別給付金及び特別定額給付金に対応するため各種システムの構築及び改修のほか、介護報酬改定等に伴う介護保険システムの改修、戸籍・附票管理システム副本登録に伴う改修など各種制度改正等へ対応しました。

2 主要な施策の成果

(1) 一般会計

款	目	事業名	決算額	財源	
				特定	地方債
				国道支出金	地方債
情報処理費	情報処理費	西いぶりデータセンター運営管理経費	19,617		
		共同電算システム運用経費	456,565		
		西いぶりデータセンター整備事業費	229,643		
ごみ処理費	中間処理施設運営費	中間処理施設管理運営経費	1,558,975		
		中間処理施設老朽化対策業務委託	90,382		
	最終処分場運営費	最終処分場管理運営経費	44,361		
	リサイクルプラザ運営費	リサイクルプラザ管理運営経費	70,554		
	中間処理施設建設費	新中間処理施設設計・建設技術支援業務委託	7,832		
土木費	余熱利用施設等運営費	余熱利用施設等管理運営経費	45,868		

内 訳		事業等実施の成果概要	
源	一般財源		
その他			
	19,617	データセンターの維持管理	
	456,565	システム保守業務委託	10件
		機器保守業務委託	5件
		制度改正等対応業務委託	32件
	229,643	システム導入業務委託	3件
		情報セキュリティ対策機器更新	外
155,983	1,402,992	ごみ搬入量	45,899.52t
		可燃ごみ	38,142.75t
		不燃・粗大ごみ	7,756.77t
		周辺環境モニタリング（大気環境）	
		施設運転保守管理業務委託費（補填措置分）	
	90,382	老朽化対策業務委託	
17,117	27,244	ごみ埋立量	3,031.81t
		脱塩残渣	1,426.39t
		処理不適物等	1,605.42t
		覆土量	246t
		残余容量	961,809m ³
69,793	761	資源ごみ処理量	1,564.62t
		缶類	371.45t
		びん類	770.86t
		ペットボトル	422.31t
		（ペットボトル処理の内訳）	
		指定法人ルート	422.31t
		独自ルート	0t
		危険ごみ処理量	93.77t
		使用済み乾電池処理量	38.41t
		環境学習施設利用者数	1,531人
		和こものつくり等	865人
		施設見学	666人
		再生家具の展示・販売（年1回）	37件
	7,832	施設の設計及び建築確認申請等	
152	45,716	げんき館ペトトル利用者	18,399人
		温水プール（自主事業受講者含む）	9,795人
		体育館（自主事業受講者含む）	8,400人
		多目的室・研修室・健康情報室	204人